

《 篠ノ井あいさつ運動 ～ 笑顔で「おはようございます」 ～ 》

12日(月)朝、「あいさつ運動」の幟(のぼり)を立て、襷(たすき)をかけた生徒会役員の諸君が、登校してくる仲間達に笑顔で「おはようございます」のあいさつをしていてくれました。これは「篠ノ井あいさつ運動実行委員」の皆様の呼び掛けに、西中として応えての活動になります。

「あいさつがつくる<あい>のまち篠ノ井～支えあい、認めあい、励ましあい～」を標語に、毎月11日を「あいさつの日」とし、篠ノ井地区全体の「あいさつ運動」に参加する形になりました。役員諸君は笑顔いっぱいであいさつをしてくれています。あいさつを受けて、返す生徒諸君も初めは照れ顔であったのが、次第ににこやかな表情に変わっていきました。1週間が爽やかな笑顔とともにスタートが切られました。全校が心地よいあいさつで満ちた朝のひと時でした。



これからも毎月11日を「あいさつの日」として多くの生徒諸君が関われるよう活動を展開していこうと考えています。

《 大好きな海の勉強を思い切り ～ 卒業生の活躍 ～ 》

うれしい知らせがありました。この春、卒業した生徒の新聞への投稿文が「新潟日報5/6(火)」に掲載され、進学先の教頭先生がコピーを送って下さいました。

～ 大好きな海、勉強でき幸せ 糸魚川市 関拓真くん 15歳 ～

僕は長野県で生まれ、豊かな自然の中で育った。しかし、長野は山に囲まれて海がない。夏休みは家族揃って新潟の海に海水浴に来た。果てしなく続く青い海。沖の白い船。いつのまにか僕は海が大好きになっていた。いつまでも、この広い海を眺めていたかった。

そして、僕は海洋高校生になった。大好きな海の勉強を思い切りできると思ったからだ。水産の授業では「ダイビング」「マリンスポーツ」「海洋生物」の中から、自分が勉強したいことを選択することができる。その中から僕は「ダイビング」を選んだ。大好きな海の中にずっと潜ってられる。海の中でいろいろなものを思う存分見ることができる。ダイビングは海と僕とを近づけてくれると信じている。

僕のいる海洋科学科では、2年生になると海洋生産コースと栽培技術コースに分かれる。どちらも魅力的で、どちらに進もうかとても迷っている。僕は将来、海上保安官か水族館の飼育員になりたいと思うので、よく考えてコースを選び、しっかり勉強して将来に役立てたい。

「学んだことのたったひとつの証は変わることである。」(哲学者 林竹二さん) という至言があります。

中学校教育の大きな目的としての進路学習 (もしくはキャリア教育) の到達点としての進路選択が、その個人の生きる力に関わってくることは言うまでもないことです。

一人の個性が、生きる場を、学ぶ場を、自分の力で選び取って、邁進しようとしている (変わろうとしている)・・・そんな場に立ち会えたことこそが、成長の醍醐味なのでしょうね。教師冥利に尽きる瞬間です。



《 つぶやく学習集団 》

授業参観にご来校ありがとうございました。授業での生徒の活躍の様子をお伝えします。

数学の学習では「単項式の乗法」に取り組んでいました。 $-(4X)^2$ のパターンからです。何

度も授業者の関川先生は正負の記号の決定を促します。このパターンの着眼点は () の位置、「どこについているのか」を着目させようとします。そして $(-a)^2 \times 3a$ を $(-a) \times (-a) \times 3a$ と丁寧に開いていきます。この時も -2^2 と $(-2)^2$ の違いを確認しつつ、授業が進行します。

そして次に、「単項式の除法」に移ります。 $8XY \div 4X$ について、割るというより約分の考え方を想起させようとします。 $\frac{8XY}{4X}$ と黒板に書かれます。数式を $(-6ab) \div 2a$ にした時には再度、「正負の決定」を促します。

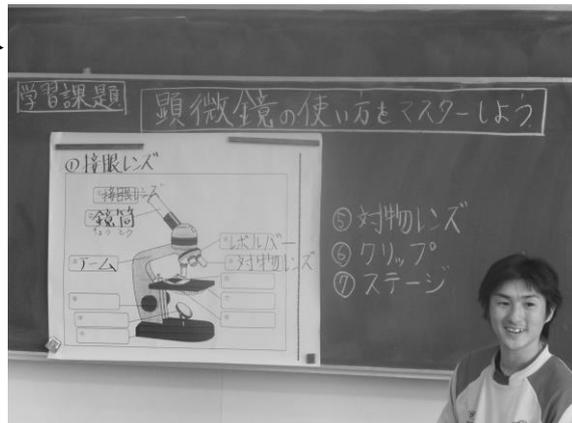
そうして本時の最終クリアー課題である「分数を含む単項式の除法」に入ります。 $-\frac{3}{2}X^2 \div \frac{3}{4}X$ です。先ほどの約分の考えを取り入れる前に、分数の割り算は逆数の掛け算である事が確認されます。 $-\frac{3}{2}X^2 \div \frac{3}{4}X$ ←ここでXをどうするのか。生徒は比較的容易に $\frac{4}{3X}$ であることを理解しているので、その逆数 $\frac{4}{3X}$ に気づき、 $= -\frac{3}{2}X^2 \times \frac{4}{3X}$ $= -\frac{3 \times X \times X \times 4}{2 \times 3X}$ と解いていきます。ここで重要な指示があります。「何となく、割り算なので減るイメージを持ってください。元式よりもスッキリ感がある。だから、解いてみてより複雑になることはありません。」けれど、この短い指示が、分数を含む除法のザックリとした重要な見通しになることに、納得をもった生徒が少なかったのが残念！再度の追究が待たれる瞬間でした。様々な授業の形の中で、反復定着型の形態の本時では、いかに生徒の定着への必要感を維持し、高めていくことが大切なのかを考えさせられる学習でした。落ち着いたある確かな学習がなされていました。



理科は「顕微鏡の使い方をマスターしよう。」を学習問題に、顕微鏡の各部位の名称確認から入ります。担当の矢野先生と生徒諸君は、接眼レンズ・鏡筒・アーム・レボルバー、・・・と11パーツから成る顕微鏡の確認をします。実際の観察に入る前に、顕微鏡の使い方が指示されます。なぜ横からステージを見るのか、低倍率から高倍率への手順等が納得され、いよいよ観察です。プレパラートを作成し、接眼レンズに食い入るように見入だ。「キモイ！」「すげ〜」「ワムシが泳いでら〜」・・・生徒達からつぶやきが出てくるわ、出てくるわ。そしてまた見入る、見入る。何よりもこの時間が生徒達の思考が躍動している瞬間でした。実に生き生きと観察に取り組んでいました。

授業の中で大切にしていきたいことが、今ある自分の力よりも、少し上の課題に仲間と一緒に挑戦し、分かりそうで分からない問題へ、解決の道筋を見出していくことで、伸びる力を一層伸ばしていくことにつながる。そんな思いからの授業構成・改善に向けて先生方も頑張っています。

・・・春の授業参観旬間が始まっています。生徒達の学習の様子をご覧になり、ご来校をお待ちしています。



《 お知らせ ～ 加配職員・各種相談窓口 ～ 》

◇今年度の本校の県費の加配職員について。

県の加配で、国の基準より多くの教職員で教育活動が営まれています。

- ・全学年 30 人規模学級で加配（3 人）・理科指導方法工夫改善加配（1 人）
- ・日本語指導教室加配（1 人） ・教育課題（学力向上）（非常勤 1 人）
- ・不登校等児童生徒支援加配（非常勤 1 人）

以上、計 7 名の県費の加配を受けています。それぞれの教育課題について、教育活動をより充実できるよう努めてまいります。

◇学校での各種相談窓口について。

学校生活でのご不明な点、ご不安やお悩み等はお気軽に担任、学年主任、教頭、校長等へご相談ください。また、次のような相談窓口も活用ください。

相談内容	担当者	職名等	対象
学校生活や子育ての悩み全般 ※相談は随時受け付けます。担任等にご連絡ください。	戸谷 佳子	スクールカウンセラー	保護者・生徒
スクールセクハラ・パワハラ等	中山 久貴 押鐘 美幸	教頭 養護教諭	保護者・生徒

《 夏の大会に向けて、頑張っています！ 》

〈第33回カルチェ杯争奪野球大会

4 / 19〉

○野球部

準優勝



～ ～ ～ ～ ～

篠ノ井西中学校の大切な学習活動の柱として、朝読書があります。椋鳩十氏が『手段としての読書・価値としての読書』として次の文章を残しています。

～ 感動や、喜びや、興味を感じるだけの読書は、物足りないように思われます。しかしながら、どういう感動や、喜びや、興味を感じるかということ、何十回、あるいは何年も繰り返すことによって、それぞれの人間の心が創られていくのです。温かい心の人、清らかな心の人、豊かな心の人、等々といった人の心は、どういうものに感動し、どういうものに喜びを感じ、どういうものに興味をもったかの繰り返しが創るものなのです。 ～

そうしてみると、若者時代の、青春時代の読書の効用は言うまでもないですね。

味わい深い人の心に触れて「温かくて清らかで、豊かな心の人」になるべく、生徒たちは今朝も、そして休み時間などのすき間時間を活用して小説に触れていっています。